

環境にやさしい工夫：地域調達材料の使用(1)



中村の百年杉

建物材料はできる限り地元材料を使用しました。

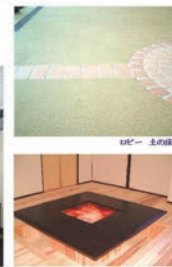
輸入品はできるだけ使わず、日本国内でもできる限り輸送距離の短い場所からの材料で調達するよう心がけました。

それは輸送のための自動車から発生する二酸化炭素を減らすと共に、地元の歴史・文化・経済を尊重しようとしています。

もどる

つぎへ

環境にやさしい工夫：自然材料



宇の岡 杉の床

豊かな自然の中にたたずむ建物として、内部の建築材料はできるだけ自然材料を使用しました。

自然材料は、部屋の湿度を調整したり脱臭したりする機能があるので、中にいる人の健康によいばかりでなく、人の五感にやさしくはたらき、いやしの効果があります。

いやしの効果といえは、なごみの間の床下には、土が敷きつめられているのよ。マイナスイオンの働きで、通風が改良されるので健康によいんですって！

もどる

環境にやさしい工夫：地域調達材料の使用(2)



エントランスホール 百年杉のオブジェ



エントランス階段 鶴巻地方のひのき材



湯家湯 地元の玉砂利



組合室内用 百年杉カウンター

もどる

つぎへ

環境にやさしい工夫：省エネルギーエレベーター



エレベーターは効率のよいモーターを使っているほか、動きに合わせて電気を使うコントロールをしているので、省エネルギーとなっています。

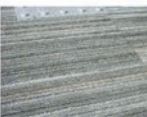
また、専用の機械室が不要であることも、このタイプのエレベーターの特長のひとつです。

もどる

環境にやさしい工夫：リサイクル材



湯家湯 再生PETボトルのカーペット



エントランス階段 再生ゴムタイヤの床

建築内部の材料選定にあたっては、できるだけ材料自体が環境にやさしいものを選びました。自然材料や地元の材料のほかにはリサイクル材も使っています。

リサイクル材は、もともとの材料や製品を廃棄処分するかわりにそれを原料とし、新しい材料として再生するものです。

リサイクルによってゴミや廃棄物を減らすことができます。

もどる

環境にやさしい工夫：雨水利用



屋根に受けた雨水を地下のタンクに集め、庭の植物への水やり、トイレの洗浄に使います。いったん雨水を貯めるので、一度にたくさんの雨が降っても、洪水のようにそのまま敷地の外に流れ出すことがありません。

また、貴重な資源としての水を保全し、有効利用することになります。もちろん水道代も安くなります。

もどる

雨は建物の地下ビッド空間を利用して貯められているんだ。貯められた雨水は飲み水と別の系統のポンプでくみ上げて使うんだ。